I-O DATA

SCSI-2対応 内蔵型PCカードアダプタ

CDOCK-IN/SC

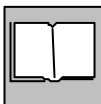
取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

88786-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
5) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
6) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
7) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
8) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

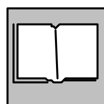


お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0
PCFCAシリーズ	PCFCA-16M,PCFCA-32M,PCFCA-48M,PCFCA-96M,PCFCA-128M,PCFCA-192M, PCFCA-256M,PCFCA-350M,PCFCA-440M,PCFCA-660M,PCFCA-880M, PCFCA-1.2G
PCHDTシリーズ	PCHDT-260c,PCHDT-2Gt
PCCFシリーズ	PCCF-H32MS,PCCF-H48MS,PCCF-H64MS,PCCF-H96MS,PCCF-H128MS, PCCF-H160MS,PCCF-H192MS,PCCF-16MS,PCCF-32MS,PCCF-48MS, PCCF-64MS,PCCF-96MS,PCCF-128MS,PCCF-160MS,PCCF-192MS
PCFDCⅢシリーズ	PCFDCⅢ-16M,PCFDCⅢ-32M,PCFDCⅢ-64M,PCFDCⅢ-128M
PCSDシリーズ	PCSD-32MS,PCSD-64MS
PCMMCシリーズ	PCMMC-16MS,PCMMC-32MS,PCMMC-H64MS
PCMSシリーズ	PCMS-16M
CFMDシリーズ	CFMD-340i,CFMD-1Gi



もくじ

はじめに

箱の中には	箱の中のものを確認します。(2ページ)
▼	
動作環境	本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。(3ページ)
▼	
取り扱いおよび使用上の注意	本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。(4ページ)
▼	
各部の名称・機能	スイッチなどの名前と機能を説明します。(5ページ)
▼	
取り付ける前に	取り付ける前にすることを説明します。(7ページ)
▼	
取り付け場所を決めよう	どこに取り付けるかを決めます。(9ページ)
▼	
SCSI-IDを設定しよう	SCSI-IDを設定する方法を説明します。(10ページ)
▼	
取り付けよう	パソコン本体に取り付けます。(11ページ)

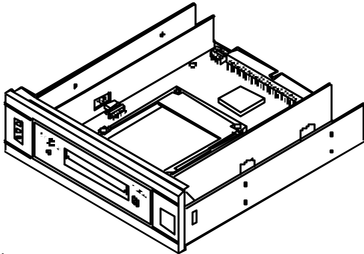
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

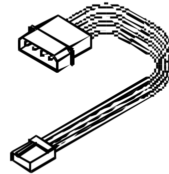
□にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

・箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
・イラストは若干異なる場合があります。



□ **PCカードアダプタ(１個)**
［CDOCK-IN/SC］



□ **電源変換ケーブル(１本)**



□ **取り付けネジ(４個)**

☑ **CDOCK-IN/SC取扱説明書(本書：１冊)**

□ **『安全で快適にお使いいただくために』(１冊)**

□ **ハードウェアシリアルNo.シール(１枚)**

□ **ハードウェア保証書(１枚)**

□ **ユーザー登録カード(１枚)**

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

●対応機種および対応OS

対応機種※1	対応OS（日本語版のみ）
NEC PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※2	Windows Me,Windows 98（Second Edition含む），Windows 95,Windows 2000,Windows NT 4.0
NEC PC-9800シリーズ	Windows 98（Second Edition含む），Windows 95,Windows 2000,Windows NT 4.0

※1　SCSI-2対応インターフェイスが取り付けられており、本製品を接続できるコネクタがあること。
また、5インチベイか3.5インチベイに空きがあること。

※2　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

●対応PCカード（1枚のみ挿入可能）

対応PCカード	推奨弊社製品
ATAカード※3 （TYPEⅡ,TYPEⅢ）	PCFCAシリーズ,PCHDTシリーズ,PCCFシリーズ※4,PCFDCⅢシリーズ※5,PCSDシリーズ※6,PCMMCシリーズ※6,PCMSシリーズ※7,CFMDシリーズ※8

※3　ストレージ系ATAカードのみ対応となります。

※4　別途アダプタが必要です。（弊社製 PCCF-ADPなど）

※5　別途アダプタが必要です。（弊社製 PCFDCⅣ-ADPなど）

※6　別途アダプタが必要です。（弊社製 PCSD-ADPなど）

※7　別途アダプタが必要です。（弊社製 PCMS-ADPなど）

※8　別途アダプタが必要です。（弊社製 CFMD-ADPなど）

SCSI、モデム、SRAMカードなどのPCカードには対応していません
本製品はストレージ系ATAカードのみ対応となります。

取り扱いおよび使用上の注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』も併せてご覧ください。

●取り扱い上の注意

・**本製品の取り扱いについて**

- 濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。

●使用上の注意

・**ATAカードの取り出し時**

ATAカードへアクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。記録されたファイルのリードライトができなくなったり、ATAカード内のデータが破損するおそれがあります。

・**ATAカードからの起動はできません**

本製品に挿入したATAカードから起動することはできません。

●本製品の修理について

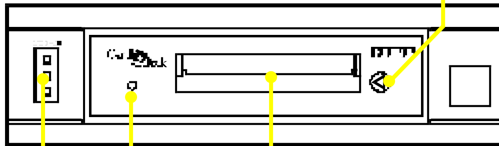
本製品の修理については、【修理について】(33ページ)をご覧ください。

各部の名称・機能

各スイッチの設定は、それぞれの参照位置を確認の上、行ってください。

● 前面（フロントパネル）

イジェクトボタン
押すとATAカードが排出されます。
ただし、アクセスランプが点灯中には、押さないでください。



ATAカード挿入口
ATAカードを挿入します。

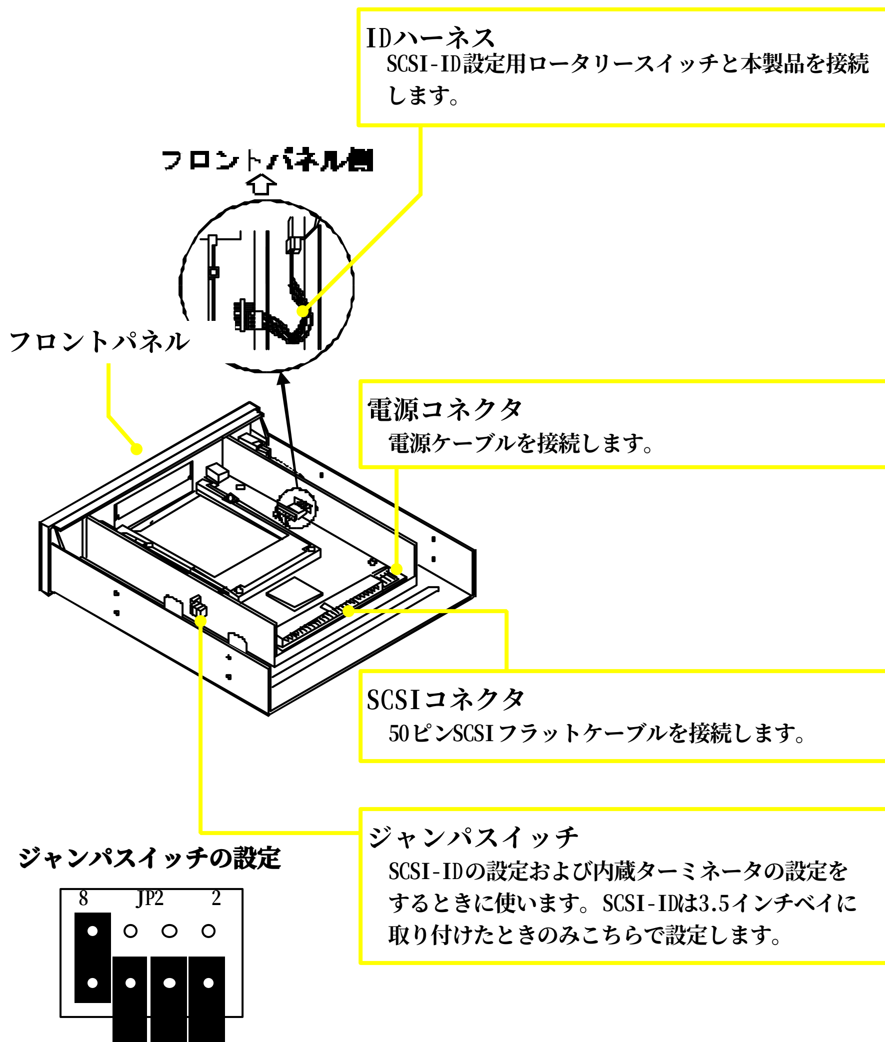
アクセスランプ
アクセス中は緑色に点灯します。

SCSI-ID設定用ロータリースイッチ
SCSI-IDを設定するときに使います。
5インチベイに取り付けたときのみ使えます。

SCSI-ID設定用ロータリースイッチ	【SCSI-IDを設定しよう】※(10ページ)

※ 5インチベイに取り付けたときのみ

● 背面&上面



出荷時設定(SCSI-ID=0,内蔵ターミネータOFF)

ジャンパスイッチ	【「内蔵ターミネータ」の設定】(7ページ) 【SCSI-IDを設定しよう】※(24ページ)

※ 3.5インチベイに取り付けたときのみ

取り付ける前に

ここでは取り付ける前にするべき設定について説明します。

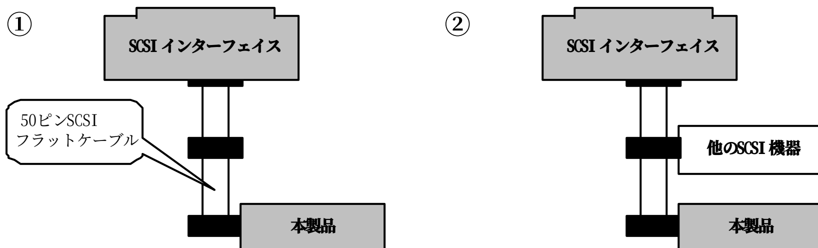
「内蔵ターミネータ」の設定

ジャンパスイッチにより、内蔵ターミネータの設定ができます。
お使いのSCSIインターフェイスにターミネータの設定がある場合は、そちらの説明もご覧ください。

●環境と内蔵ターミネータについて

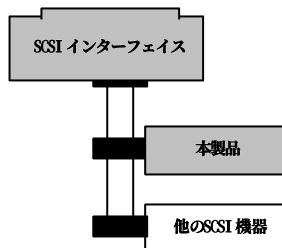
・内蔵ターミネータをONにする場合

- 接続されている内蔵SCSI機器が本製品のみの場合（図①）
- 複数の内蔵SCSI機器を接続しており、本製品が末端の場合（図②）



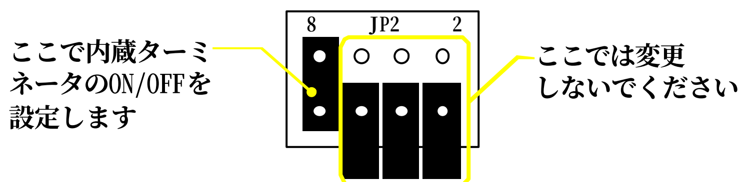
・内蔵ターミネータをOFFにする場合（出荷時設定）

- 複数の内蔵SCSI機器を接続し、本製品が末端でない場合（図③）
- ターミネータが付いている50ピンSCSIフラットケーブルをお使いの場合
- NEC製 PC-9821Rv20,RvII26,Rs20をお使いの場合（パソコン本体背面のSCSI機器用コネクタ、または外付SCSI機器の末端にターミネータを取り付けます。）



●内蔵ターミネータの設定方法

ジャンパスイッチにより、内蔵ターミネータの設定を行います。
ジャンパスイッチは、破損しないように、ていねいに設定してください。
ジャンパスイッチの位置は、【各部の名称・機能】(5ページ)をご覧ください。



ON	OFF
8 JP2 2	8 JP2 2
	(出荷時設定)

のこり3つのピンについて
ここでは、変更しないでください。

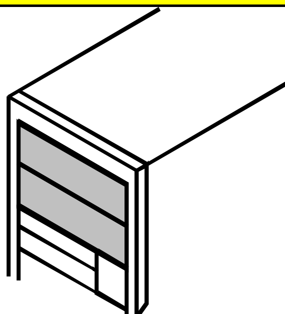
取り付け場所を決めよう

本製品は、5インチベイと3.5インチベイに取り付けることができます。
以下をご覧になり、空いているベイがご使用のパソコン本体にあるかを確認し、どちらに取り付けるか選択してください。

《取り付け場所について》（例：タワー型パソコンの場合）

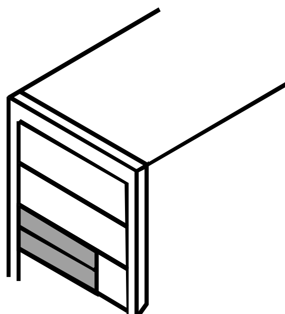
● **5インチベイ（ファイルベイ）とは**

CD-ROMドライブと同じ大きさの内蔵ドライブを取り付けられる場所のことです。



● **3.5インチベイとは**

フロッピーディスクドライブと同じ大きさの内蔵ドライブを取り付けられる場所のことです。



上記の取り付け場所は、一般的なパソコン本体の例です。
パソコンによっては別の場所に5インチベイや3.5インチベイがあります。
取り付け場所の位置については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

《選択》

● **5インチベイに取り付ける場合**

次のページにお進みください。

● **3.5インチベイに取り付ける場合**

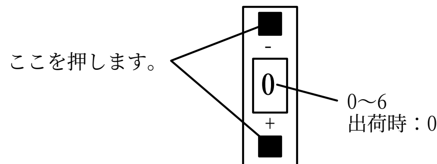
【3.5インチベイに取り付ける場合】(23ページ)をお読みください。
※これ以降を読む必要はありません。

SCSI-IDを設定しよう

3.5インチベイに取り付ける場合は･･･
【3.5インチベイに取り付ける場合】(23ページ)をご覧ください。
注意！
SCSI-IDの設定は、パソコンと周辺機器の電源を切ってから行ってください。

● SCSI-IDの設定

本製品のSCSI-ID設定用スイッチで、0～6の間で設定します。
（7は通常SCSIインターフェイスが使用）
図の黒い部分を先の固いシャープペンシルなどで押して、設定します。



SCSI-IDを設定する際のヒント
本製品のみを接続している場合
SCSI-ID=0 ：本製品（出荷時設定。変更の必要はありません。）
複数のSCSI機器を接続している場合
他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

取り付けよう

下記の手順に従って、取り付けを行います。
下記の手順は、SCSIインターフェイスがすでにパソコン本体に取り付けおよび認識されていて、SCSIインターフェイスと50ピンSCSIフラットケーブルが接続されている状態を前提としています。（SCSIインターフェイスの取り付け方法および50ピンSCSIフラットケーブルの接続方法は各SCSIインターフェイスの取扱説明書を参照してください。）

3.5インチベイに取り付ける場合は･･･
【3.5インチベイに取り付ける場合】(23ページ)をご覧ください。

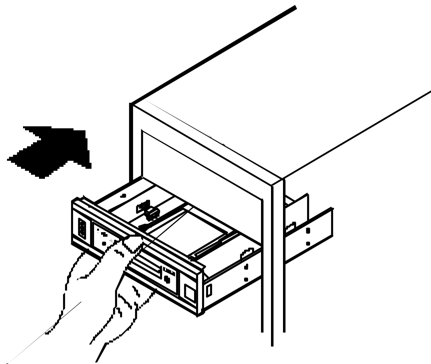
1 パソコン本体の電源を切り、電源ケーブルを外します。

2 ルーフカバーと5インチベイのフロントカバーを取り外します。

（パソコン本体の取扱説明書参照）

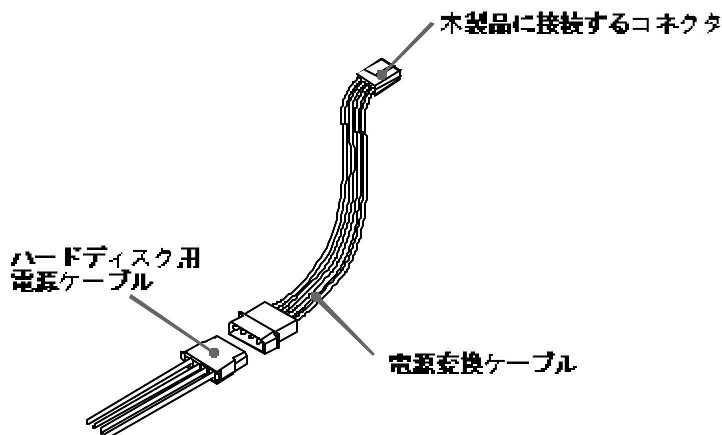
本製品を取り付ける前に以下の3点について確認してください。
・IDハーネスが正しく取り付けられていること。(6ページ)
・内蔵ターミネータの設定が行われていること。(7ページ)
・内蔵ターミネータ以外のジャンパスイッチ設定が出荷時のものになっていること。(6ページ)

3 5インチベイに、本製品を入れます。



4 付属の電源変換ケーブルを接続します。

付属の電源変換ケーブルを、パソコン内部のハードディスク用電源ケーブルに接続します。



5 以下の作業を行います。

① 本製品に50ピンSCSIフラットケーブルを取り付けます。

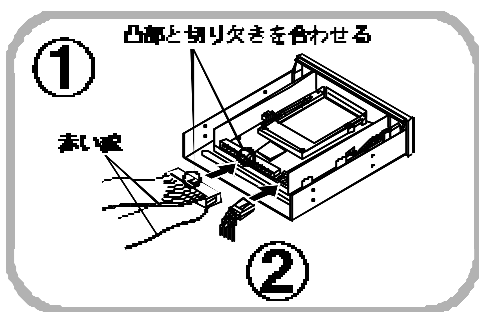
SCSIフラットケーブルの中央凸部を上にして、確実に奥まで挿入します。

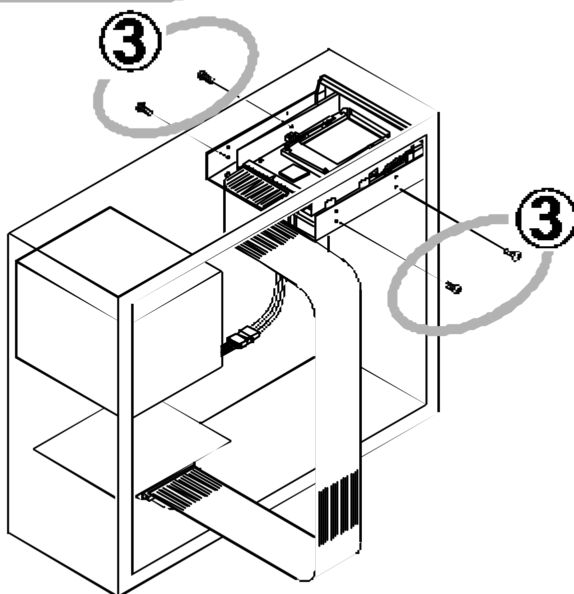
② 電源変換ケーブルの小さいコネクタを、本製品に接続します。

電源変換ケーブルの小さいコネクタを、本製品の電源コネクタに接続します。

③ 本製品を5インチベイに固定します。

本製品と5インチベイのネジ穴が合うように、本製品を5インチベイに押し込み、付属の「取り付けネジ」で固定します。





6 **パソコン本体のルーフカバーを取り付けます。**

（パソコン本体の取扱説明書参照）

以上で取り付けは終了です。

MEMO

使ってみよう

ここでは本製品を使う手順について説明します。

ATAカードの取り扱いについて	ATAカードの取り扱いについて説明します。(16ページ)
▼	
ドライブを確認しよう	本製品のドライブを確認します。(17ページ)
フォーマットについて	ATAカードをフォーマットする方法について説明します。(18ページ)

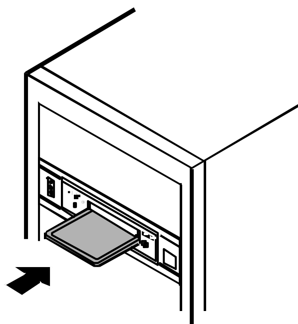
ATAカードの取り扱いについて

ここでは、ATAカードの取り扱い方について説明します。

ATAカードを挿入する

1　ATAカードを、ATAカード挿入口へまっすぐに入れます。

しっかり最後まで入れてください。



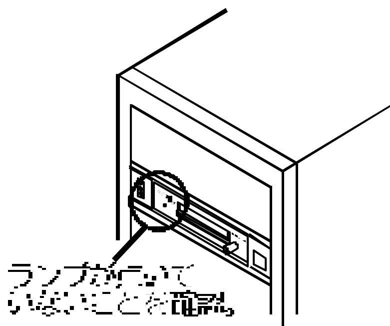
ATAカードを取り出す

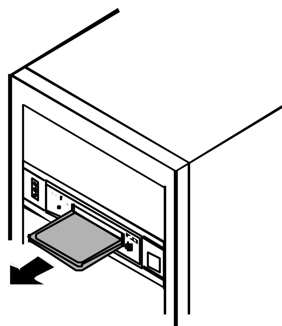
1　本製品のアクセスランプが消えていることを確認します。

アクセスランプが消えてから、しばらく待ってください。

2　イジェクトボタンを押します。

⇒ATAカードが出てきます。





ドライブを確認しよう

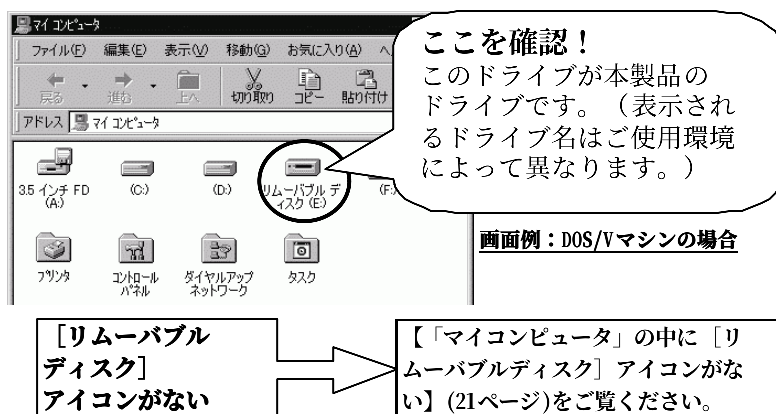
ここでは本製品のドライブを確認します。

1　周辺機器・パソコンの電源を入れ、OSを起動します。

周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れて、OSを起動します。

2　［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。

OSが起動したら、［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。



以上でドライブの確認は終了です。
この［リムーバブルディスク］アイコンを開くと、本製品に挿入したATAカードのデータが表示されます。

> **タスクバーのアイコンについて**
> 本製品にATAカードを挿入しても、タスクバーにアイコンは表示されません。

フォーマットについて

ここでは、ATAカードのフォーマットについて説明しています。

■ フォーマットについて

ATAカードを使用する機器（デジタルカメラ等）にてフォーマットするようにしてください。

本製品では、フォーマットしないでください

ATAカードを使用する機器によっては、特殊なフォーマットを使用するため、ATAカードが使用不可能になる場合があります。

付録

困った時には	本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。(20ページ)
3.5インチベイに取り付ける場合	3.5インチベイに取り付ける場合について説明します。(23ページ)
用語解説	本書内の用語を説明します。(29ページ)
ハードウェア仕様	本製品の仕様を説明します。(30ページ)

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

使用中にデータエラーが発生する

原因 **ケーブルが長い、もしくは品質が悪いため、ノイズの影響を受けている**

SCSIインターフェイスボードの設定で、本製品に該当するSCSI-IDの同期転送速度を下げてみてください。（詳細は、お使いのSCSIインターフェイスボードの取扱説明書参照）
また、SCSIケーブルを短いものに変更してみてください。

パソコンが起動しない

原因 **SCSI-IDの設定や、取り付け方法が正しくない**

SCSI-IDの設定や取り付け方法を確認してください。
【SCSI-IDを設定しよう】(10,24ページ)や【取り付けよう】(11,25ページ)をご覧ください。

タスクバーにPCカードのアイコンが表示されない

原因 **タスクバーにアイコンが表示されない仕様である**

本製品は正常に動作しております。

PC98-NXシリーズをお使いで、［デバイスマネージャ］タブが表示されない

原因 **デバイスマネージャが表示される設定ではない**

デバイスマネージャが表示される設定に変更してください。
設定方法については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、パソコンメーカーにお問い合わせください。

「マイコンピュータ」の中に［リムーバブルディスク］アイコンがない

原因１ **最新の情報が表示されていない**

①　［マイコンピュータ］を開きます。

②　［表示］→［最新の情報を表示］の順にクリックします。

原因２ **正しく接続されていない**

本製品をパソコンから取り外し、再び取り付けて（【取り付けよう】(11,25ページ)）ください。

原因３ **SCSIインターフェイスが正しく認識されていない**

SCSIインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、SCSIインターフェイスの認識をご確認ください。

PCカードが認識されない

原因１ **ストレージ系以外のATAカードを挿入した**

SCSI、モデム、SRAMカードなどの、ストレージ系以外のATAカードには対応しておりません。

原因２ **Windows NT 4.0の仕様**

Windows NT 4.0でATAカードを交換した場合、交換後のATAカードの情報が正しく表示されない場合があります。この場合、以下の手順でATAカードを再認識させる必要があります。

1　［プロパティ］を開きます。

［マイコンピュータ］内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。交換後の情報になっていれば認識されています。

2 「ディスクアドミニストレータ」を開きます。

［スタートメニュー］→［管理ツール］→［ディスクアドミニストレータ］を起動します。

交換後の情報になっていれば認識されています。

3 上記で認識されない場合は、再起動します。

ATAカードの交換が正しく認識されてない場合は、OSを再起動してください。

3.5インチベイに取り付ける場合

3.5インチベイに取り付ける場合について説明します。

SCSI-IDを設定しよう

SCSI-IDを設定する方法を説明します。(24ページ)

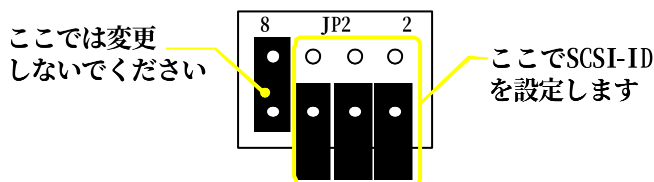
▼

取り付けよう

パソコン本体に取り付けます。(25ページ)

SCSI-IDを設定しよう

ジャンパスイッチのコネクタ側３つのスイッチで、SCSI-IDを0～6の間で設定します。（7は、通常SCSIインターフェイスが使用）。
ジャンパスイッチの位置は、【各部の名称・機能】(5ページ)をご覧ください。



SCSI-ID 0	SCSI-ID 1	SCSI-ID 2	SCSI-ID 3
8 JP2 2	8 JP2 2	8 JP2 2	8 JP2 2
（出荷時設定）			

SCSI-ID 4	SCSI-ID 5	SCSI-ID 6
8 JP2 2	8 JP2 2	8 JP2 2

SCSI-IDを設定する際のヒント

本製品のみを接続している場合

SCSI-ID=0 ：本製品（出荷時設定。変更の必要はありません。）

複数のSCSI機器を接続している場合

他のSCSI機器と重ならないように、SCSI-IDを設定してください。

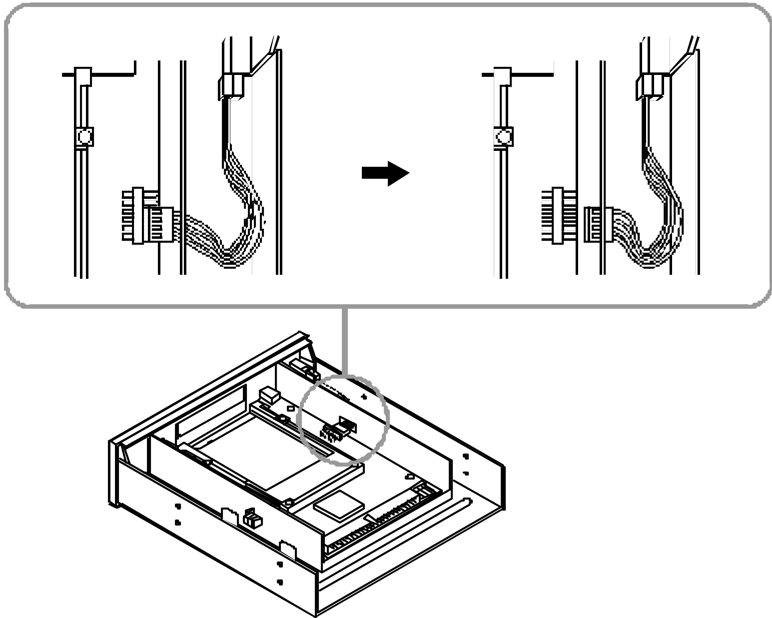
一番左側のピンについて

【「内蔵ターミネータ」の設定】(7ページ)をご覧ください。

取り付けよう

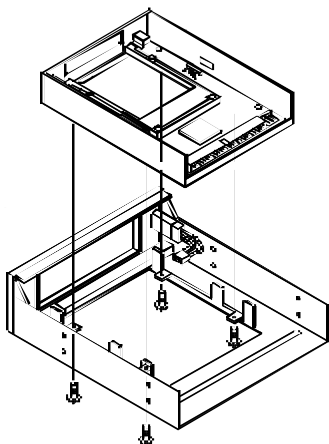
下記の手順に従って、取り付けを行ってください。
下記の手順は、SCSIインターフェイスがすでにパソコン本体に取り付けおよび認識されていて、SCSIインターフェイスと50ピンSCSIフラットケーブルが接続されている状態を前提としています。（SCSIインターフェイスの取り付け方法および50ピンSCSIフラットケーブルの接続方法は各SCSIインターフェイスの取扱説明書を参照してください。）

1 本製品からIDハーネスを取り外します。



IDハーネスを再び取り付けるときは･･･
コネクタ側のピン4本（フロントパネル側にピンが2本余ります）に取り付けてください。
その際、オレンジのケーブルがコネクタ側になるように取り付けてください。

2 **ネジを外し、取り付け金具を取り外します。**

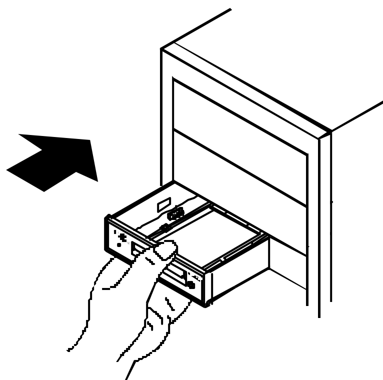


取り外したネジと取り付け金具は･･･
ネジと取り付け金具はもう使いません。
なくさないように大切に保管してください。

3 **パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルを抜きます。**

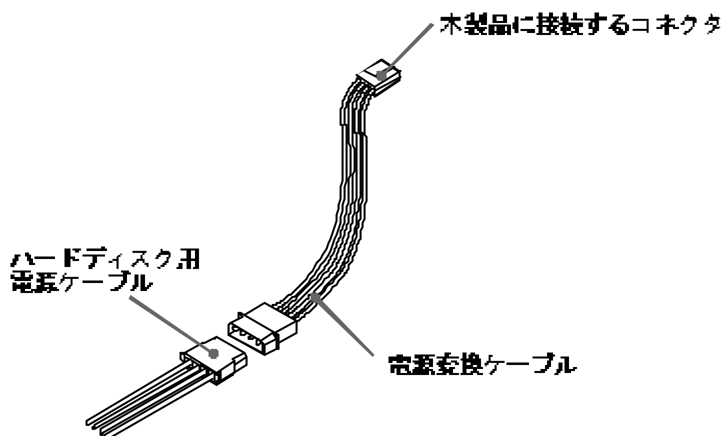
4 **ルーフカバーと3.5インチベイのフロントカバーを取り外します。** （パソコン本体の取扱説明書参照）

5 **3.5インチベイに、本製品を入れます。**



6 付属の電源変換ケーブルを接続します。

付属の電源変換ケーブルを、パソコン内部のハードディスク用電源ケーブルに接続します。



7 以下の作業を行います。

① 本製品に50ピンSCSIフラットケーブルを取り付けます。

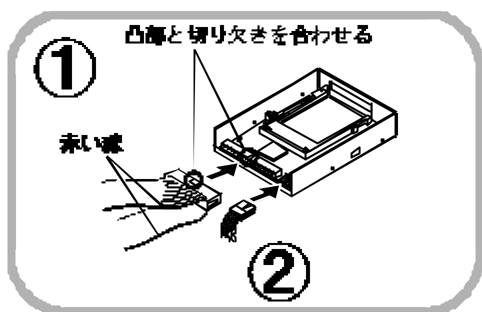
SCSIフラットケーブルの中央凸部を上にして、確実に奥まで挿入します。

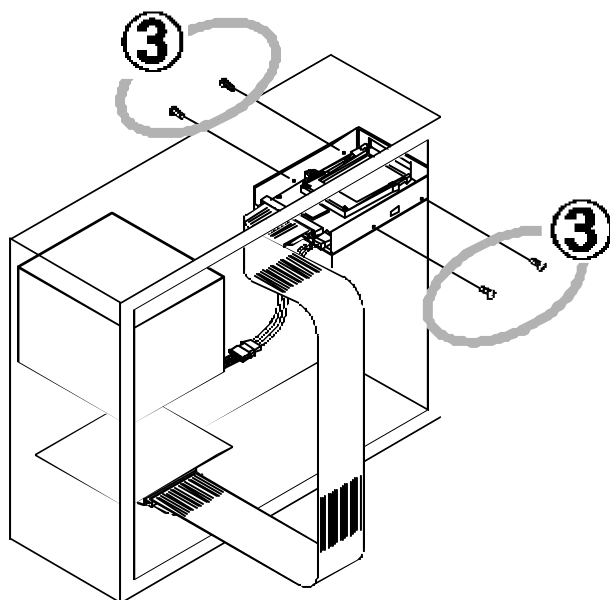
② 電源変換ケーブルの小さいコネクタを、本製品に接続します。

電源変換ケーブルの小さいコネクタを、本製品の電源コネクタに接続します。

③ 本製品を3.5インチベイに固定します。

本製品と3.5インチベイのネジ穴が合うようにし、本製品を付属の「取り付けネジ」で固定します。





8　パソコン本体のルーフカバーを取り付けます。

(パソコン本体の取扱説明書参照)

以上で取り付けは終了です。
【使ってみよう】(15ページ)にお進みください。

用語解説

ATAカード［エーティーエーカード］(AT Attachmentカード)

PCMCIAスロットを装備した機種で使える記憶カードのこと。
TypeⅡのフラッシュメモリカードや、TypeⅢのハードディスクカードなどがある。

JEIDA［ジェイダ］(Japanese Electronic Industry Development Association)

日本電子工業振興協会。米国のPCMCIAと協調して、「PCカード」規格を策定した。

PCMCIA［ピーシーエムシーアイエー］(Personal Computer Memory Card International Association)

日本のJEIDAと協調して、「PCカード」規格を策定した米国の標準化団体。

SCSI［スカジー］(Small Computer System Interface)

ハードディスクやCD-RWドライブなどの周辺機器を接続する際のインターフェイス規格。SCSIで接続する周辺機器を利用するには、パソコン本体にSCSIインターフェイスを組み込む必要がある。

Type Ⅱ,Ⅲ［タイプ ツー,スリー］

ハードウェアベンダが外形寸法などの規格を提案し、PCMCIAに承認されて一般化したもの。Type Ⅱは長辺が85.6mm、短辺が54mm、厚さが5mm。TypeⅢは厚さを10.5mmにしたもの。ハードディスクなど、Type Ⅱ規格では収まらないデバイスではType Ⅲ規格が用いられる。

ターミネータ

信号の反射を防ぐためのもの。SCSI機器に内蔵していて、スイッチでオン、オフするタイプもある。ターミネータはSCSI接続での端のSCSI機器のコネクタに接続する。

ハードウェア仕様

インターフェイス仕様（最大）	SCSI-2 5Mバイト/Sec(同期転送)
PCカード インターフェイス	PCカード ATA規格準拠
対応メディア	ATA PCカード※(TYPE II,TYPE III)
スロット数	1スロット
動作温度	+5℃～40℃(パソコンの動作する範囲であること)
動作湿度	+20%～80%（ただし結露なきこと）
電源電圧	DC +5V±5%
定格消費電流	200mA（メディア未挿入時）
本体サイズ	5インチベイ取り付け時 149(W) X 160(D) X 42(H) mm 3.5インチベイ取り付け時 102(W) X 140(D) X 25(H) mm
本体質量	5インチベイ取り付け時 約320g 3.5インチベイ取り付け時 約240g

※ストレージ系のATAカードのみ対応

ユーザー登録について

ここではユーザー登録について説明します。

1 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置にはります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書にはってください。

2 ユーザー登録をします。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。

●オンライン登録(http://www.iodata.co.jp/regist)

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録してください。
I-O DATA ホームページにユーザー登録フォームが用意されています。
画面の表示にしたがって必要事項を記入してください。
ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードにユーザー登録番号を記入し、大切に保管してください。

●ハガキ登録

必要な事項をご記入のうえ、弊社までユーザー登録カードをご返送ください。

必要事項のご記入もれや必要なシールのはり忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2 丁目84番地
アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「CDOCK-IN/SC」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3367　東京　03-3254-0340
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先※までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2 丁目84 番地
アイ・オー・データ第2 ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

CDOCK-IN/SC取扱説明書
2001.Mar.16 88786-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地